

ID ^{注1)}	241108	公開レベル ^{注1)}	C	保管形式 ^{注1)}	紙・電子	保管場所 ^{注1)}		前回ID	231109	
報告書名称 /調査名称	令和5度 白神山地ニホンシカ対策広域食痕調査業務						発行年月/報告年月			
							2024年		3月	
							資料形式 ^{注2)}		報告書	
調査機関	東北地方環境事務所			委託機関	株式会社 地域環境計画					
調査開始年	2023年	9月	調査期間	2023年	9月	～	2023年	11月		
調査頻度 ^{注2)}				調査時期 ^{注2)}	秋					
モニタリング計画	2022年7月	改訂	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(3)		
調査箇所・範囲 ^{注3)}				調査手法						
☒ 核心地域 ☐ 緩衝地域 ☒ 周辺地域 ☒ GPS等の位置データあり				《これまでに実施した調査項目及び調査方法》 ・ライトセンサス (2016年～2018年) ・ボイストラップ調査 (2018年～) ・越冬適地解析 (2019年) ・ルートセンサス調査 (2020年～) ・スポットセンサス調査 (2020年～2021年) ・広域食痕調査 (2022年～) 『業務の目的』 本業務では、白神山地周辺樹林地におけるシカの食痕の分布状況を把握することにより利用頻度の高い分布域（局所個体群）の推定及びシカの侵入経路調査を実施するとともに、試験捕獲に向けての情報収集や課題整理、手法等の検討を行うことを目的とした。 《2023年の業務内容》 【広域食痕調査(補足調査)】 令和4年度の調査地点に加えて新たに設定した9メッシュにおいて、1メッシュあたり5地点を目安に45地点で広域食痕調査を実施した。調査対象種を発見した場合は種ごとにニホンシカの食痕の有無と食害レベルを記録した（表1,2）。 【侵入経路把握調査】 侵入経路と推定される青森県平川市及び大鰐町において、食痕・糞・角研ぎ・足跡（獣道含む）・体毛等の痕跡調査を行った（表3、図3）。また、侵入が想定される箇所に自動撮影カメラを設置し、侵入状況の把握を行った（表4）。 【試験捕獲に向けての情報収集及び課題整理、手法等の検討】 当該業務及び過年度業務の結果を踏まえ、試験的なシカ捕獲に必要な情報収集及び課題整理、手法等の検討をした。情報収集や課題整理、手法等の検討にあたり対策実施者や専門家へのヒアリングを行い、必要な情報収集や助言等を受けることとした（表5,6,7）。 ※この他にニホンシカ対策として以下の調査を実施した。 【ルートセンサス調査】（業務委託） 【ボイストラップ調査】（業務委託）						
結果概要（スペースに収まるように入力してください）										
【各調査地点における食害レベル】 令和4年度、令和5年度ともに、d0とndの地点がそれぞれ8割、9割を超える結果となった。令和4年度には、弘前市、西目屋村、深浦町、八峰町、大鰐町でd2の地点が、d3については深浦町、弘前市、八峰町、大鰐町で確認され、令和5年度には、平川市においてd1の地点が確認されたほかは、多くがd0となった。調査地全体としては北										
表1 食害レベル評価基準										
被害無し (nd)		食害による被害無し								
被害レベル1 (d0)		葉群の10%未満が食害により消失								
被害レベル2 (d1)		葉群の10-25%未満が食害により消失								
被害レベル3 (d2)		葉群の25-50%未満が食害により消失								
被害レベル4 (d3)		葉群の50%以上が食害により消失								
表2 食害レベル別の地点数(令和4年度及び令和5年度)										
調査区分	食害レベル					合計				
	被害無し nd	レベル1 d0	レベル2 d1	レベル3 d2	レベル4 d3					
令和5年度調査	16 (35.6%)	27 (60.0%)	2 (4.4%)	0	0	45				
令和4年度調査 (環境省調査含む)	71 (23.5%)	184 (60.9%)	30 (10.0%)	11 (3.6%)	6 (2.0%)	302				
図1 調査対象種の確認地点数と食害レベルの割合										
環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田6-1-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 《原本（データ）の帰属について》										

備 考

【空間推定分析結果】

調査地域内で局所的にd2、d3がみられ、特に海に近い地域に食害レベルが高い箇所が確認された（図2）。また、調査地域北東部弘前市付近でもd2、d3が確認されたが、総じて食害レベルは低い傾向にあった。特に調査地南部の秋田県側ではndの箇所も多く見られた。

【侵入経路把握調査結果】

侵入が疑われる4つの調査区間全てで、ニホンジカまたはカモシカの痕跡が確認された。大鰐トンネルでは地域住民によるニホンジカの目撃情報も得られた。自動撮影カメラ調査では矢立峠周辺に設置した4箇所でおスのニホンジカが計10頭確認された（表4）。

自動撮影カメラや目撃情報を踏まえると、今回の調査ではニホンジカと確定した痕跡は確認できなかったものの、確認された多く痕跡の中にニホンジカの痕跡が含まれている可能性は高いと考えられる。

表3 侵入経路調査一覧

番号	調査場所	痕跡調査（ルート）	自動撮影カメラ調査
1	3-1. 東北自動車道黒石ICから碓ヶ関IC間の高速道路を横切る道路及び河川等調査	高速道路交差点部分87か所	なし
2	3-2. 東北自動車道大鰐トンネル周辺調査（大鰐町大鰐北山）	大鰐トンネル上の樹林内 4地点 （ルート o1、o2、o3、o4）	1地点（c-1 大鰐）
3	3-3. 矢立峠周辺の林道における痕跡調査	矢立峠周辺の林道 7地点 （ルート y1、y2、y3、y4、y5、y6、y7）	4地点 （c-2 陣馬東、c-3 下内沢①、c-4 下内沢②、c-5 下内沢③）
4	3-4. 国道7号線矢立峠（青森・秋田県境）より青森県側5kmの区間	国道沿い5km区間	なし

表4 ニホンジカ撮影結果一覧

No.	地点名	撮影日	撮影時間	個体数	雌雄	尖数	備考
1	c-2 陣馬東	10月18日	2:33	1	オス	1尖	—
2	c-2 陣馬東	10月18日	16:59	1	オス	1尖	同一個体
3	c-2 陣馬東	10月20日	12:17	1	オス	4尖	—
4	c-2 陣馬東	10月23日	7:32	1	オス	1尖	同一個体
5	c-2 陣馬東	11月4日	18:15	1	オス	1尖	同一個体
6	c-2 陣馬東	12月7日	19:39	1	オス	4尖	—
7	c-3 下内沢①	10月12日	14:01	1	オス	3尖	不鮮明
8	c-4 下内沢②	10月25日	2:12	1	オス	3尖	—
9	c-5 下内沢③	10月10日	21:06	1	オス	1尖	—
10	c-5 下内沢③	11月25日	11:28	1	オス	4尖	—

【試験捕獲に向けての情報収集及び課題整理、手法等の検討】

現状の体制及び状況から、適切な試験捕獲手法としては、忍び猟、流し猟、誘引餌試験を経たくりわな、囲いわなが挙げられるが、白神山地の現状でニホンジカの生息状況は低密度な状況であり、効果的な捕獲手法は挙げられない。

＜銃猟での捕獲について＞

銃猟での捕獲手法としては、痕跡をもとにした忍び猟、流し猟、少人数での巻き狩りが想定される。現状の低密度下では、非積雪期における痕跡は少なく、発見しづらいため、足跡の確認が容易な積雪期での実施が考えられる。

＜誘引餌を用いたわな捕獲について＞

自然下の食べ物が少なく誘引への効果が高い冬季での実施が望ましい。実施にあたっては、当該地のニホンジカについて、誘引餌の実証試験を行う必要がある。

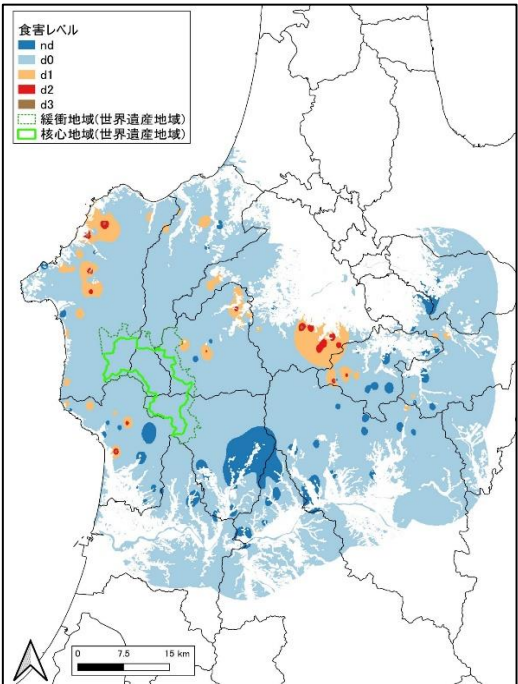


図2 IDW法による食害レベルの空間推定図



図3 侵入経路調査位置図